



# 人権教育だより

～自分も仲間も大切にできる思いやりの心を育てよう！～

京丹後市立大宮中学校

令和3年3月11日

No.14



## 3年生のみなさん

# 祝 卒業!

## 自分を大切に! 人を大切に!

公立高等学校の中期選抜学力検査が終わり、3年生のみなさんは人生での大きな山を越えました。あとは、明日に迫った“卒業式”を中学校生活の集大成として立派にやり遂げ、胸を張って卒業してください。

みなさんは、小学校の時から大宮学園として大切にしてきた“人権を大切にすること”を、HRを始めあらゆる場で学習してきました。人権学習ではいじめや差別について考え、「自分も仲間も大切な存在である」ことを学びました。コロナ禍といわれる社会状況の中、感染者やその家族、医療従事者などへの「偏見や差別を絶対にしてはいけない」ことについても学習しました。2学期には、LGBTに対して正しい理解をすることを通して、多様な性や「誰もが自分らしく生きる」ことを学びました。

これまでの学びは、これからどの場所にいても、大切にしていってほしいです。偏見や差別に対してのアンテナを磨き、自分は差別をしない、周りにもさせない皆さんであってほしいです。そして、自分を大切に、周りの人を大切に生きていってください!



3年間の人権学習を

振り返って

### 1年生 (H31年度)

『人権のつどい』

宮本延春先生をお迎えして

「オール1の落ちこぼれ、教師になる」



ユーモアを交えながらも、生き方について語られる先生のお話は、ピンピンとみなさんの心に響いたようです。

★この講演で心に残って、考えさせられたのは、「出来ない子どもはいない」というところだった。僕もよく周りや誰かと比べて「出来ないなあ」とかいろいろ思っていたが、それは自分が勝手に「出来るわけない」と決めつけてただけだと思われた。また、視野を広く持つ、という話にも興味がわいた。どうすればいいか、と思った時に、様々なことをしたらいいと言われたので、挑戦してみようという意欲がわいた。     《1年生(現3年生)男子》

★私は宮本さんの講演を聞いて、人は一人では生きていけない、ということを強く実感しました。自分のことを分かってくれたり、理解してくれたり、思ってくれる人がいないと、自分一人では何もできないということが分かりました。今日私はこの話を聞いて、感謝することがどれだけ大事で、自分がたくさんの人に支えられて生きていることを知ることができました。

《1年生(現3年生)女子》

## 2年生（R元年度）



### 『人権のつどい』 阪根泰子先生をお迎えして

阪根先生に車いすバスケットボールを教えてもらい、お話をして頂きました。全校のみなさんにとっては、障がいのある方を含めた全ての人の人権について、自分の生き方について、ひいては社会の在り方について考える機会となったことと思います。

「夢に向かって～車いすバスケットと私～」

★今日の講演で本当に大切なのは、「心のバリアフリー」なんだなと感じました。人と人がつながり合いながら何かをすることは、とても素晴らしいことなんじゃないかなと思いました。実際に車いすに乗ってみて、改めて大変だなと思いました。でも、そう思うだけにとどまらず、どうしたら少しでも楽にできるかを考えていて、実際にそういう人に出会った時には気遣うことを忘れないようにしたいです。

《2年生（現3年生）男子》



★話の中で印象に残ったのが、選手に選ばれなかった時のことです。確かに自分も上手くいかないことがあれば、理由を探していつも逃げていました。でも、そこで諦めないことの大切さと、努力することの大切さを教えてもらいました。そんなお話を聞いていて、いつも理由をつけて逃げて、自分に甘えている自分がばかしくなりました。勉強でも部活動でも、逃げずに立ち向かっていきたいです。

《2年生（現3年生）女子》

## 3年生（R2年度）

### 『人権のつどい』 定政輝先生をお迎えして

「誰もが自分らしく生きる  
～LGBTや多様な性を  
考える～」



月に1日でしたが、卒業生のみなさんが身につけてきた“人権バッジ”は持ち帰り、時々中学校の学びを思い出してくださいね！

定政さんからは「LGBT」を知ってもらうことで、「多様な生き方や性があること」を知ってもらいたい、そして、いろんな壁があっても、「自分らしく、あなたらしく、ありのままの夢を描いてほしい」というメッセージを受け取りました。

